



8月8日、青少年育成黒潮町民会議（少年補導育成センター事務局）事業、子ども広場「北郷地区で遊ぼう」が、北郷小学校で行われました。当日は、町内の各小学校から合計26人の子どもたちが参加し、地域住民といっしょに竹の器づくりや流しそうめん、シバ餅づくりなどを楽しみました。

子ども広場



シイタケ風味をいっぱいにした、北郷の特製めんつゆでした!!



シイタケは山に作ってあるもの、カツオ節は佐賀地区からのお取り寄せです!

り、堤防での魚釣りや高齢者とのグラウンドゴルフ交流、お菓子づくりなどが行われています。子どもたちに自然とめいっぱい触れ合ってもらおうこと、そして、小学校区を超えて子どもたち同士で交流し親睦を深めてもらうことを目的に毎年行われています。今回の「北郷地区で遊ぼう」は、昨年からの子ども広場のメニューに加わり、今年で2回目となります。

北郷の特製めんつゆ

子ども広場の前日から、北郷地区では、地域のおばちゃん



流しそうめん楽しい!器がいっぱいになっても「どんどん流して〜!」

んたちが集会所に集まり、下準備を始めていました。薪釜で炊いためんつゆは、シイタケやカツオ節、昆布がたっぷり使用され、風味豊かな味がしています。流しそうめんを楽しんだ子どもたちからは「おつゆがおいしい!」と大変好評で、ゴクゴクと飲み干す子どももいるほどでした。ダシ汁にとったカツオ節は、カツオ梅にして当日のおむすびの具になりました。残りのカツオ節、シイタケ、昆布も、みじん切りにして佃煮を作りスタッフのまかない料理にするなど、地域の食材を持ち寄るだけでなく、無駄のない調理にも感動させられます。シバ餅のモチ粉は地域から

の持ち寄り、アンコには、町の特産品の黒砂糖が使われていました。

北郷地区で遊ぼう!

朝から北郷小学校に集まった26人の子どもたち。

当日は天候にも恵まれ、子どもたちはサンサンと降り注ぐ太陽のもと、地域の方々に教わりながらノコギリや小刀、紙ヤスリを使って竹の器とお箸を作りました。普段、お家の方に習って使ったことのある子や、初めての子も、ケガをしないように教えられた通りに上手に扱っていました。



頑張って作った竹の器とお箸は、絵を描いたり、色を付けたり。自分の名前を入れて、オリジナル作品のできあがり★



昼食を兼ねた流しそうめんの後は、お土産に持って帰るシバ餅を地元のおばあちゃんたちと一緒に作りました。



シバ餅は、ひとつは味見、あとはお家へのお土産です。ふろしきは上手に結べたかな?



シバは何日も前から山から取ってきたものを保存していたものです。当日は山散策をして自然に生えたシバを見に行ったグループもあったようです。

丸1日使って元気に楽しんでくれた子どもたちの様子を、地域の方々もとても喜んでいました。来年も楽しみに待っていてください。